

“看来”，“看起来”， そして“看上去”について

横 川 澄 枝

0 はじめに

中国語の“看来”・“看上去”・“看起来”は、日本語に置き換えた場合に、しばしば「見たところ」・「見た目は」・「～ようだ」と訳される。

・看来他还没拿定主意。

(彼はまだ決心がついていないようだ) 訳文とも小学館『中日辞典』より

・他看上去好像不太高兴。

(彼は見たところどうも不機嫌そうだ) 講談社『中日辞典』より

・天阴上来了，看起来要下雨了。

(空が曇ってきた、見たところ雨が降りそうだ) 大修館書店『中日大辞典』より

これらの語は互いに入れ替えることが可能であろうか。どういう場合に置きかえることが可能であり、その場合、意味的に差異はあるのだろうか。また、どういう場合に置き換えができないのだろうか。このような疑問にもとづき、意味的側面・用法的側面から、この三つの語の相似点・相違点を比較したいと考える。

1 問題の所在—先行研究をめぐって—

『現代汉语八百词』(1998)では、“看”の項において「动趋」構造の例を挙げているが、その中に、この3語も含まれており、次のような説明がなされている。

- 看上去 ・ a) 从底下看上去，山亭只能看出个轮廓
b) 插入语。从外表估计、打量：他看上去也不过十八、九岁
看起来 插入语。揣摩、估计：看起来这件事情还没了结
看来 插入语。依据客观情况估计：这事看来他不会反对

本稿において扱うのは、言うまでもなく、“插入语”¹⁾として用いられる用法である。たとえば、上の“看上去”の例で言うならa)の基本義である動詞としての用法ではなく、“插入语”として用いられるb)の用法に限定する。刘月华(1998)においては次のような説明がなされている。

“看上去”的意思是從外表、外形來觀察，常用於描寫人或物體，“看上去”後面接描寫性詞語或觀察所得的印象。“看上去”在句中作插入語。

“想起來”、“看起來”引進說話人的一種看法：…這樣用的“看起來”與“想起來”所引進的看法（往往是結論性的）都是從剛剛觀察到或聽到的現象、情況得出的，因此對上文或語境有極大的依賴性。

“V來”引進說話人的一種看法。…引出說話人由當時所見所聞而得出的結論。

ここで着目したいのは、“看來”と“看起來”とは話者の見解を導くと述べられている点、すなわち文中における機能に触れていることである。

以上見てきたように、“看來”と“看起來”と“看上去”とは、

- ①外から見たこと、あるいは観察に基づいている
- ②推察・推量を表す

という点においては共通性があるが、しかし、意味的・用法的には相違する点を併せ持っていると思われるようである。

次のような例文がある。

- 1) 哦，别难过，你看起来还很年轻。（大阪）
（悲しむことはないよ。見た目はまだずっと若いんだから）
- 2) 他该过了四十五岁吧？可是看上去要年轻得多。（茉莉香片）
（彼は四十五歳を過ぎているはずだよ。でも、見たところずっと若いみたいだ）

“看来”，“看起来”，そして“看上去”について

3) …就是从那时开始，我们深深了解到这个看起来那么乐天的人，内心深处，却积压着对剥削阶级和旧社会深重的仇恨。（大阪）

（その時から、見た目にはあんなに極楽とんぼに見えるこの人の心の奥底には、搾取階級と旧社会に対する深い恨みが滓のように積もっていることを理解し得たのだ）

4) 他看上去很有教师的风度。（学习）

（彼には見たところいかにも先生といった趣がある）

5) 嫂子生了两个全是丫头，而母亲的寿命看来不会很长。（“傻人”的希望）

（兄嫁が生んだのは二人とも女の子だし、母親の命もさほど長くはなさそうだ）

これらの例文について、まず、“看起来”と“看上去”を中心として見ていくと、言葉を置き換えても文が成立する場合と成立しない場合とがある。

1) *哦，别难过，你看上去还很年轻。

2) 他该过了四十五岁吧？可是〔看上去／看起来〕要年轻得多。

3) …我们深深了解到这个〔看起来／看上去〕那么乐天的人，…

4) 他〔看上去／看起来〕很有教师的风度。

5) *嫂子生了两个全是丫头，而母亲的寿命看上去不会很长。

上の1)は“看上去”には置き換えられないが、2)、3)、4)は“看上去”に置き換えることができ、5)は“看上去”に置き換えられない。この違いはどこに由来するのだろうか。

6) “〔看上去／看起来〕你伤得不重啊！”（上海）

（怪我はたいしたことないみたいだね）

この例文は、友人が怪我で入院したと聞いて病院へ駆けつけ、ベッドの友人と交わす会話である。もともと“看上去”が用いられており、“看起来”をも用いることができるが、意味が変わってくるという。差異があるとすれば、どのようなものだろうか。

以上の問題意識に基づき、これらの語の意味・用法を比較したいと考える。

2 述べ立ての対象

“看上去”と“看起来”と“看来”との共通している意味、「推察、推量」の対象となるもの、すなわち、その述べ立て”の対象となっているのはどのような事物なのだろうか。このような観点から、これらの語の実際の用いられ方を探るために、中国語の小説、および日本語の小説の中国語訳中の用例から語の用法を調べ、述べ立ての対象を次のように大まかに分類してみた。

- 述べ立ての対象 ものごとの外面——外見、外面、見た目など
 - ものごとの内面——内情、内実、見通しなど
 - 人の外面——外見、容貌、見た目など
 - 人の内面——性格、イメージなど
 - 事物に対するある判断
- 述べ立てのしかた・態度

上のような分類に基づき、以下に実例を挙げつつその特徴を記述したい。

2・1 ものごとの外面を述べる

“看上去”が多く用いられる場合の述べ立ての対象としては、まず「ものごとの外面」を述べる場合が挙げられる。

- 7) 那沙发是全包的那种, 看上去很大很结实也很笨重, … (羊的门)
- 8) 那些报纸上文章都是用红笔圈过的, 看上去十分的醒目! (羊的门)
- 9) 高晋家从外面看上去就像屋里没人, … (动物凶猛)

これらに共通するのは、目で見えて客観的に分かるある事物の外観を述べているということである。“看上去”は、目で見えてとったこと、視覚に捉えたことを述べるときに用いられている。このことは逆から見れば、“看上去”が用いられている場合には、その場の視覚に捉えられたこと、客観的に見て取れることが述べられているのであり、それは逆に、目に見えない部分については述べていないということでもある。9) は「高晋の家」が「中に誰もいない」というのは、“从外面看上去”、あくまで外から見た限りという限定付きのことを述べているのであり、実際に家の中に人がいるのか否かということにはふれて

“看来”，“看起来”，そして“看上去”について

いない。

『外国人児童生徒のための日本語指導 第3分冊—中国語版文法説明』(1999)の「～そうな」の項目には次のような説明が付されている。

おいしそうな料理が並んでいます（摆着些看上去很好吃的菜）

形容词接「～そうな」是说一种看上去的样子。表达一种实际上看到，听到，接触到的感觉和印象。中文的意思是“看上去、看起来（好像）……似的”。

この説明では、「実際に見たり聞いたり触れたりした感覚あるいは印象を表す」という意味として、つまり、日本語の「形容詞プラスそうな」の意に対応する場合には、“看上去”と“看起来”とは等価のものとして扱われている。ここから、**“看上去”は視覚を通して捉えられたことを述べる、すなわち、囁目の叙述**であると言えよう。

10) 你比我要好多了，在日本，至少你一眼看上去还看不出是个外国人吧，日文里还有那么多的汉字。（上海）

上の例のように、**囁目の叙述**とは、つまり、述べ立ての対象が眼前にある一現場にあっての叙述である。“看起来”については以下に述べていく。

2・2 ものごとの内面について述べる

これに対して、コトガラの内面——すなわち、例えばある事情・状況・内実と言うのは外から目で見ても分からない場合が多いが、このような述べ立ての対象に対しては“看上去”ではなく、“看起来”が多く用いられる。

11) …那么迄今为止耐心等待了多年，看起来也是白费了力气。（山芋粥）

12) 看起来，事情是要越闹越大呀！（趋向）

13) 这事迟迟没有解决，看起来事情很复杂。（常用词）

14) 大部分同学都答错了，看起来这个问题没有讲清楚。（常用词）

15) 看起来，女儿是被退回来了。（羊的门）

12) は、将来へ向けての見通しであり、発話時現在において目で見取れるたぐいのことではなく、将来に向けての推量である。13) 「事情が複雑である、込み入っている」ということも、「このことが遅々として解決しない」という

事実から推し量ったことであり、外から見てとれることではない。また、14)は「クラスの大半が間違った答えをした」という事実をもとにして、このことから「この問題はどうもはっきり説明していなかった」ということが推量として導き出されたのである。この場合は、過去に遡及して推量しており、実際に見聞きしたことではない。そして、また、この例から分かるのは、「クラスの大半が間違った答えをした」という事実は自らの目で確認したことであるとは限らず、他から得た情報であってもよいということである。外界から得た情報（この中には自身が自らの目で見えたものも含む）をもとにして推量なり、ある種の判断をする、つまり、“看起来”は「ものごとの内面」のような「目に見てとれない」対象に対しても「情報などをもとにして、判断する・推量する」意を含んでいる。その場における囑目の叙述ではなく、過去のことに遡及することもでき、将来のことを推量することもできる。

2・3 人の外面について述べる

2・1で「ものごとの外面」について述べる場合には“看上去”が多く用いられていると記したが、「人の外面」を述べる場合にも“看上去”が多く用いられている。

16) 他眼小，他的眼一直眯缝着，看上去就像是用秫秆篾子划了一下似的，小得几乎看不见。（羊的门）

17) 他看上去真是很白，就像一团上等的埃及上绒棉。（无人喝采）

18) 窄额头与她肥厚的下巴恰成对比，使她看上去脸像猫一样短。（动物凶猛）

16) の「彼の目が細」くて「コウリヤンの茎を割いたのでひっかいたようだ」ということなどは目で見て取れる外見上の特徴であり、多くの人が見ても同様の、客観的な特徴であろうと思われる。客観的に外から見て取れる外見を叙述するには“看上去”が多く用いられている。

しかし、同じように、人間の外見から伺える“年齢・年格好”については、“看起来”と“看上去”との双方が用いられている。

19) 这女的看上去有三十来岁，…（羊的门）

“看来”，“看起来”，そして“看上去”について

20) 侍女长着一副讨人喜爱的容颜，看上去有二十四五岁，两颊上还残留一些稚气。(砂器)

21) 吉冈年过四十了，也许是独身的缘故，看起来年轻得多。(砂器)

1) 哦，别难过，你看起来还很年轻。

人間の年齢—「三十いくつか」であるとか、「二十四五」であるとかを、述べる場合には“看上去”が多く用いられている。また、実年齢と必ず一致するとは限らない「見た目の印象」を言う場合には“看起来”を用いることもできる。21)の“年轻得多”は「実際に年齢的に若い」ということではなく、あくまでも「見た目の若さ」である。「実際は四十を過ぎている」という記述で分かるように、「実年齢は四十すぎであるが、見た目はそれよりも若い」ということである。「背が高い低い」などは人間の外面に表われ、そこには、程度の差こそあるものの、ある程度の客観的な基準を想定することができるが、「見た目の年齢」というのは外面だけではなく、むしろ主観的なものに左右され、対象の人物のおおよその年齢を知っていて見た目と比較したり、実際の年齢を知っている人との比較に立つなど、経験などに照らしあわせて主観的になされる一種の判断である。このような、主観に大きく左右される“事物に対する見方”—すなわち“ある種の判断に基づくとらえ方・考え方”を表す場合には“看起来”を用いることができる。

さらに、1)の例においては“看上去”を用いることができないが、しかし、人称を変えた場合には文として成立する。

1) 哦，别难过，你〔看起来／*看上去〕还很年轻。

1)' 他看上去还很年轻。

上は会話の一部である。会話において、話者が対話の相手に対して、相手の見た目が若いことを述べる場合には「判断・推量」の意を内包する“看起来”を用いることができる—「(私ハ) アナタハ若ク見エル (ト判断シテルンダヨ)」—が、「目に見てとれる」意を内包する“看上去”—「アナタハ若ク見エルヨウデス (見タトコロ若イデス)」—は用いにくい。しかし、同様の会話においても、1)'のように話者が相手に向かって第三者のことを述べる場合ならば、

“看上去”を用いることができる。「人の外見」について、ニュートラルな立場から描写をする場合には“看上去”が用いられ、「人の外見」についての話者の判断・推量—主観を示す場合には“看起来”が用いられる傾向がある。

2・4 人の内面について述べる

22) 这位看上去挺老实的老头被说的十分可怕，最引起公愤的是他下令战士吃西餐，… (看上去很美)

23) 看上去他挺老实的。(橡皮人)

24) 他站在那里，嘴唇蠕动着，看上去十分激动… (羊的门)

「ものごとの内面」を述べ立てる場合には“看起来”が多く用いられている。(2・2)「人の内面」もやはり「ものごとの内面」と同様に、外からはうかがい得ないものであるが、実際には多く“看上去”が用いられている。これらの例に共通しているのは、いかにもそのような印象を与えるようなある外見を描写しているのであって、実際に内面がそうであると言っているのではないということである。24)は“嘴唇蠕动着”という様子から「動揺しているように見える」ことを述べている。では、実際はどうであるかということ、その点については不問である。“看上去”は**囁目の描写**である。

2・5 ある判断を述べる

述べ立ての対象と、語の使い分けの関係について先に見てきたなかで「**ある種の判断・推量**」を述べる—陳述する場合には“看起来”が用いられていることを指摘してきた。

25) 我不太熟悉她，看起来怪可怜的。是个好姑娘。(砂器)

26) 看起来，是“山雨欲来风满楼”啊!(羊的门)

27) 看来咱们都遇见知音了。(玫瑰门)

28) 看来你还没学会怎么尊重老师。(玫瑰门)

ある事物あるいは人物に関しての話者の判断を述べる場合には、“看起来”が用いられている。26)、27)、28)のように、自分の意見を結論として表出す

“看来”，“看起来”，そして“看上去”について

る場合に発話のはじめに“看起来”や“看来”を用いる例も多く、2において先行研究としてあげた刘月华（1998）の指摘に「話者の見解を導く」機能ととらえられており、これらの語は文法化をとげて機能語化³⁾しているとも言えよう。

3 述べ立ての態度の視点から

金水敏（1989）に「語り」と「報告」という考えが示されている。「報告」とは「日常的対話で聞き手にある状況を知らせる行為またはその言表」のことで、「語り」とは「小説や物語の地の文」のことであると定義される。この分類を援用するなら、「報告」において話者の判断を述べる場合、“看起来”、“看来”が用いられ、「語り」において事物を描写する際に“看上去”が用いられているという傾向を見出せる。この点については、刘月华（1998）でも話者の結論を引き出すとして触れられているところと繋がってこよう。

また、これらの語を含む文が疑問文の形を取る場合がある。ただし、疑問文の形をとった例は集めた用例中に多くは見出せなかった。

29) 你瘦了么，不过更漂亮了。怎么?看上去好像还是在穷打工?（上海）

30) 看来，你也被他感动了?（上海）

31) 看起来是这样吧?其实不是这样。（贫嘴）

32) 他是不是看上去总好象是笑?（人莫予毒）

これらの例では形式的には疑問文の形をとってはいるが、実際に文中ではたしている機能としては、話者が自己の判断を相手に提示することによって「確認すること」であると思われる。また、疑問のフォーカスがこの「確認」にあるということは、これらの“插入語”が文意に深く関わっているということでもある。

先に挙げた例であるが、

6) “〔看上去/看起来〕你伤得不重啊!”（上海）

（怪我はたいしたことないみたいだね）

もともとの例文では“看上去”が用いられている。怪我をした友人を病院に見

舞った場面での発話であるが、“看起来”が用いられると、「怪我がひどいと聞いていたのに、たいしたことないじゃない」という揶揄あるいは皮肉めいたニュアンスが伴うという。あらかじめ得ていた情報にたいして、「話者が、その情報とは異なった自己の判断を相手に提示する」ということから生まれたニュアンスなのではないだろうか。

“看来”、“看起来”ともに「話者が自己の判断を相手に提示する」という、いわば「ことあげ」的な機能をもっていると見られるが、両者の違いについてはまだ結論が出せない。辞書類の中には、両者の意味が同一であるとしているものも少なくないが、中国語母語話者に対する聞き取りを試みたところでは微妙な差異があるようである。この点については稿を改めて考察したい。

また、中国語作文テキストの中に次のような文型を見出す。

33) 这把雨伞看起来很重, 其实很轻。(作例)

34) 那件衣服看起来很笨, 穿起来都很轻便。(作例)

35) 看起来不怎么样, 可是吃起来挺不错。(作例)

前件と後件が逆接関係で結ばれているように見える。“看起来”のもつ「判断のことあげ」機能から、ある判断を前に述べ、後にその検証結果を述べるという文型である。これについては、“看上去”を用いた場合のニュアンスの違いについても発展させていきたいと考える。

4 まとめと今後の課題

“看上去”と“看起来”と“看来”とは述べ立ての対象としては、“看上去”は「囑目の事物の見た目の描写」、「看起来」と“看来”とは「ある情報から得た判断・推量」である。情報が視覚によって捉えられたものである場合、これらの語の用法は重なってくる。“看上去”は「囑目の事物の見た目」を述べるものであるがゆえに、現在と繋がり、「外面からはうかがうことのできないものごとの内面」を述べる場合には用いられない。その場合には、“看起来”と“看来”が用いられる。また、“看上去”は「囑目の事物のその場における見た目」を述べるものであるがゆえに、現在との接点のない、見て取ることの

“看来”，“看起来”，そして“看上去”について

できない「将来への推量」あるいは「過去に遡及しての判断」を述べる際には用いられない。この部分は“看起来”と“看来”にカバーされている。

次に、述べ立ての態度としては、“看上去”は「瞩目の事物の叙述」－「語り」であり、“看来”と“看起来”とは「話者による判断の陳述」－「報告（ことあげ）」である。

用例の検討を通じて以上の結論を得た。しかしながら、これらの語のより細緻な差異を探るためには、多くの中国語母語話者の語感を調査する必要があると思われる。これを今後の発展課題としたい。

注

- 1) “插入语”とは、次のように定義される。

“独立语”的一种。指用在句中或句首，表示引起对方注意、对情况的推测和估计等附加意义的词语或短语。 《实用汉语语法大辞典》（1989）

また、范晓（1996）『三个平面的语法观』には、次のように述べられている。插加或添加在句法结构上的插语则是表示一种附加意义（语用意义），即对被插加的那个成分所反映的事实表示主观的感情态度的，

また、その中の一分類“评议语”については次のように説明されている。

这类插语一般都表示说话者本人对核心语所述说的事实的一种看法和态度

- 2) 述べ立てとは、話し手の視覚や聴覚などを通して捉えられた世界を言語表現化して述べたり、ある事柄についての話し手の解説・判断や解説・判断への疑念を述べ伝えるといった発話・伝達的態度を表したものである。これには、〈現象描写文〉〈判定文〉〈疑いの文〉の三タイプが仮定される。

仁田義雄「現代日本のモダリティの体系と構造」 仁田良雄・益岡隆志編『日本語のモダリティ』（1989）

- 3) 文法化 grammaticalization

Traugott & Heine（1991）の用語。元来は独立した語彙項目が、文法的な機能を担う形態素となってゆくことをいう。『英語学用語辞典』（1999）三省堂

参考文献

吕叔湘主编 (1999) 《现代汉语八百词增订本》商务印书馆

刘月华 (1998) 《趋向补语通释》北京语言文化大学出版社

陈高春主编 (1989) 《实用汉语语法大辞典》职工教育出版社

金水敏「報告についての覚書」 仁田良雄・益岡隆志編 (1989) 『日本語のモダリティ』くろしお出版

東京外国語大学留学生日本語教育センター編 (1999) 『外国人児童生徒のための日本語指導 第3分冊 中国語版文法説明』ぎょうせい

例文出典

『上海人在东京』张弘、富敏编／『羊的门』李佩甫／『砂器』松本清张 曹修林译／『山芋粥』芥川龙之介 刘德有译／『冰壁』井上靖 周明译／『看上去很美』『橡皮人』『无人喝采』『人莫予毒』王朔／『茉莉香片』张爱玲／『动物凶猛』王蒙／『“傻人”的希望』史铁生／『玫瑰门』铁凝／『贫嘴张大民的幸福生活』刘恒／『现代汉语学习词典』上海外语教育出版社／『趋向补语通释』刘月华主编／『汉语常用词用法词典』北京大学出版社／『大阪外国語大学中国語入力テキスト』